

自己注射 クイックガイド

注意事項

- 主治医から指導された方法で注射をしてください。
- 本キットには28日分の薬剤が入っています。使用を開始して28日経過した場合は、薬剤が残っていても廃棄してください。
- 1日に1回のみ注射し、2回以上は注射しないでください。
- 1つのキットを他の人と共同で使用しないでください。

準備

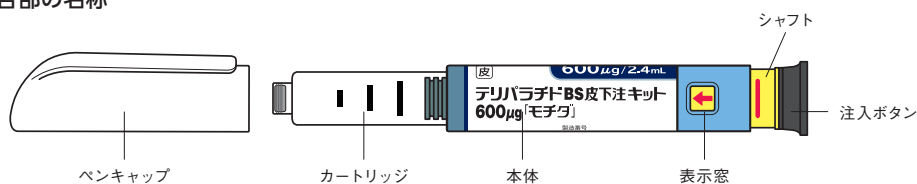
- 準備を行う前に、手を洗ってください。

準備するもの

■ テリパラチドBS皮下注キット600 μ g「モチダ」

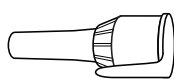


各部の名称

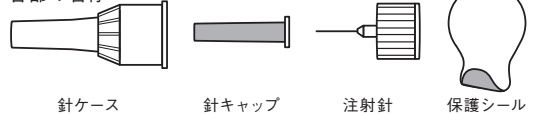


使用期限が切れていないか確認してください。また、薬液が無色透明でない場合や、浮遊物などが見られる場合は使用せず、主治医に相談してください。

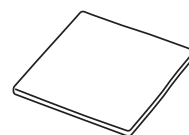
■ 新しい注射針



各部の名称



■ アルコール綿



注射針、アルコール綿は別売りです。キットの中には入っていません。

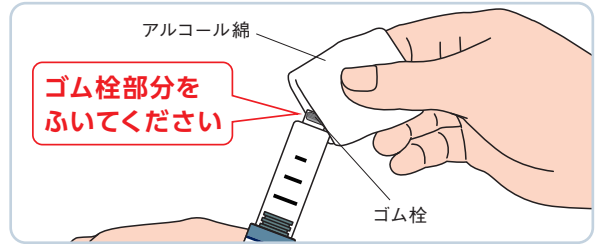
1

注射針を取り付ける

注射針は毎回新しいものを使用してください。

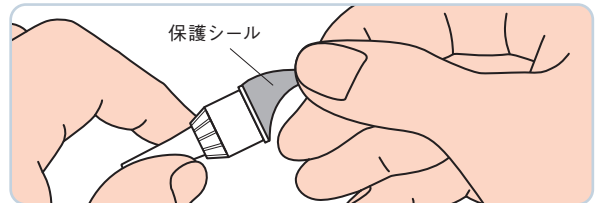
1

ペンキャップを取り外し、カートリッジ先端のゴム栓部分をアルコール綿でふきます。カートリッジ先端以外の部分をアルコール綿でふかないでください。



2

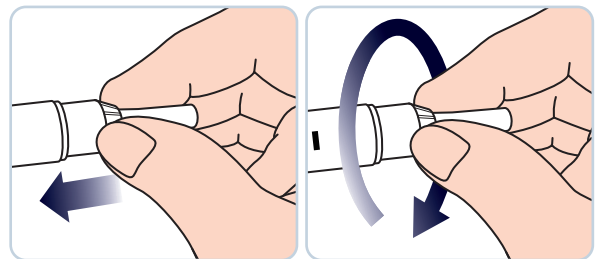
針ケースの保護シールをはがします。



3

針ケースをカートリッジに取り付けます。

針ケースをまっすぐ押し込み、回転が止まるまで右に(時計回りに)回して取り付けてください。きつく締めすぎると取り外しができなくなるため、ご注意ください。

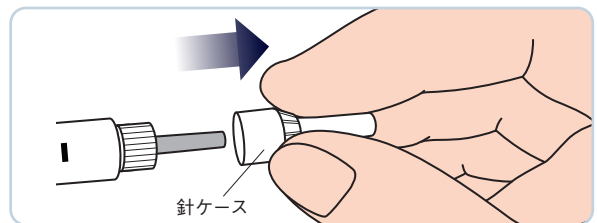


注意: 針ケースを斜めに装着すると、正しく注射できません。

4

まっすぐ引っぱって、針ケースを取り外します。

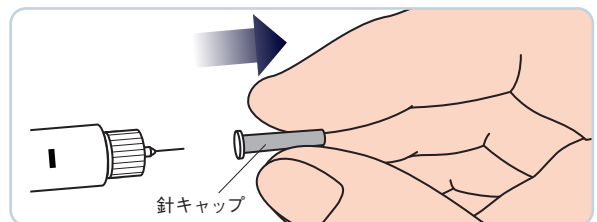
取り外した針ケースは後で使うので、捨てないでください。



5

針キャップを取り外します。

取り外した針キャップは、プラスチックゴミとして捨ててください。



新しいキットを最初に使用するときは、**2 注射を打つ**に進む前に空打ちを行ってください。空打ちの方法は、**空打ち(1回目のみ)**のページをご覧ください。

2

注射を打つ

1

注入ボタンを「カチッ」という音がして止まる位置まで引っぺります。表示窓の赤矢印の向きが逆方向に変わります。また、黄色いシャフトの付け根部分に赤い線が見えていることを確認してください。

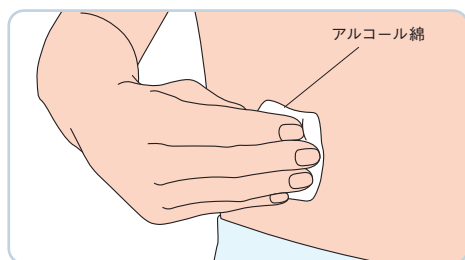
薬液を使い切ると、注入ボタンを引っぺらなくなります。新しいキットに交換してください。

注入ボタンを引っぺる前



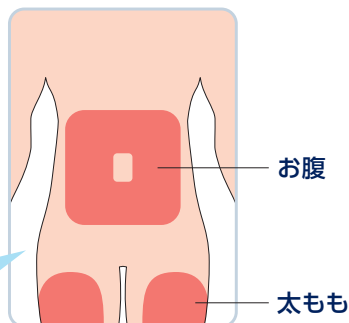
2

注射する場所を消毒します。



● 注射できる部位

注射する部位は主治医の指示に従ってください。

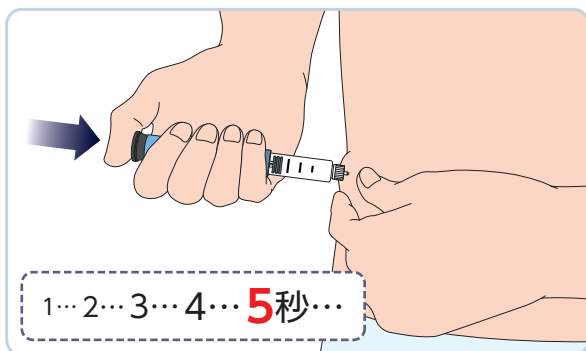


注射するごとに2~3センチずらしてください

3

注射針を注射部位にまっすぐに押し当てて、注射針を差し込み、親指で注入ボタンを「カチッ」と音がするまでゆっくり押します。

5秒以上たったら、注入ボタンを押したまま注射針を皮膚から引き抜きます。注射針を抜くまでは、押している指の力は入れたままにしてください。



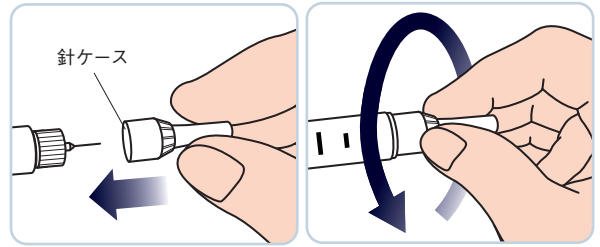
注射終了後：注射針を皮膚から抜いたところで、表示窓の赤矢印の方向が変わり、黄色いシャフト部分が見えなくなったことを確認してください。

3

注射針を取り外す

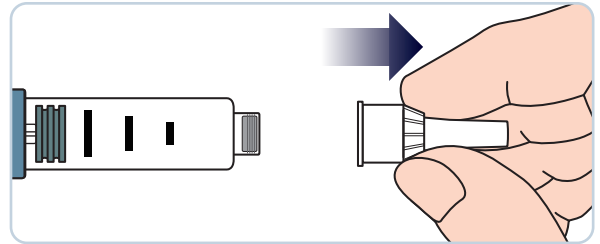
1

取り外した針ケースを差し込んで
左に(時計と反対回りに)回します。
主治医の指示に従い、指に注射針をさ
さないよう慎重に針ケースを取り付けて
ください。



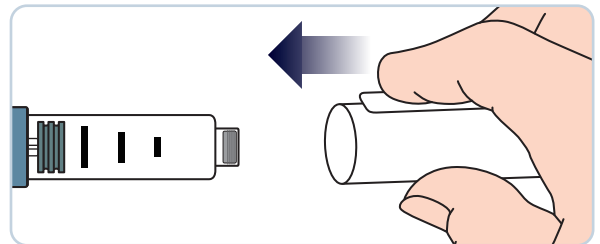
2

針ケースがゆるんだら、
針ケースの太い部分を持って、
まっすぐ引き抜きます。
注射針が外れなかったときは、再度針
ケースを差し込んで、力を入れて押し
込みながら回してみてください。



3

使用後は
すぐにペンキャップを取り付けて、
冷蔵庫で保管してください。
注射針を付けたまま保管しないでくだ
さい。



使用済みの注射針とキット本体は、主治医・医療従事者の指示に従って廃棄してください。
キット本体を廃棄する際は、必ず注射針を取り外してください。

保管方法

- 使用前も使用開始後も冷蔵庫(遮光、2~8℃)で保管してください。
- 凍結させないように注意し、冷凍庫には入れないでください。
- 薬液が凍結した場合は廃棄して、新しいテリパラチドBS皮下注キット600 μ g「モチダ」を使用してください。

自己注射の流れ

準備

1 注射針を取り付ける

新しいキットを
1回目に使用するとき
は、最初に空打ちを行
ってください。

2回目以降は、**空打ちを行わず**
に注射を打ってくだ
さい。

空打ち(1回目のみ)

2回目以降も空打ちを行
うと薬液がなくなり28
日間使用できなくなる
ため、空打ちしな
いでください。

2 注射を打つ

3 注射針を取り外す

空打ち(1回目のみ)

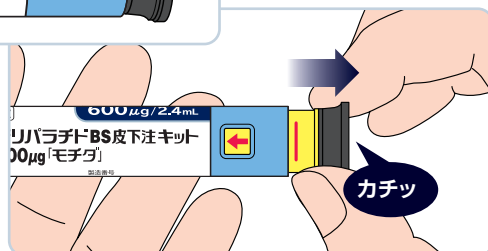
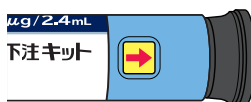
新しいキットを最初に使用するときには、正常に動くことを確認するために空打ちを行います。
空打ちは最初の1回だけ行います。2回目以降は行わないでください。

1 注射針を取り付ける (中面の左のページ) を行った後に、空打ちを行ってください。

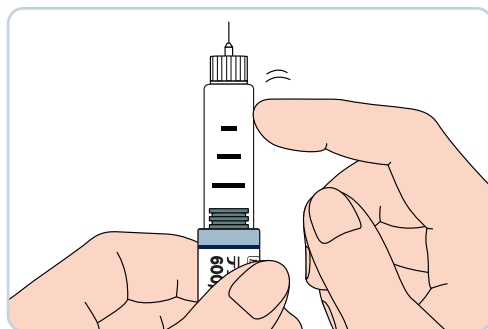
1 注入ボタンを「カチッ」という音がして止まる位置まで引っぱります。

表示窓の赤矢印の向きが逆方向に変わります。また、黄色いシャフトの付け根部分に赤い線が見えていることを確認してください。

注入ボタンを引っばる前



2 針を上に向けて、指でカートリッジに軽く振動を加え、カートリッジ内の気泡を先端部に集めます。



3 針を上に向けたまま注入ボタンを「カチッ」と音がするまで押し込み、針先から薬液が流れ出るのを確認してください。

注入ボタンを押し込んだ後、赤矢印の方向が変わり、黄色いシャフト部分が見えなくなったことを確認してください。

薬液が勢いよく飛び散ることがあるので、目や口に入らないようにしてください。

注入ボタンを押し込む前

